



UONUMA KIKAN2020

地域をつなぎ いのちをつなぐ
魚沼基幹病院は高度急性期医療を担います



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

R2.9.25

「地域全体で一つの病院」

これまで魚沼地域で十分に対応できなかった三次救急

魚沼基幹病院は、高度医療を地域の方々に提供し、地域医療再編の中核的な役割を果たします。

地域の医療機関と連携して地域完結型の医療を目指します。



病院の基本的機能



魚沼地域の拠点的医療を担う基幹病院として地域に貢献する医療機関を目指します。

○地域医療を担う病院

➡救命救急医療、高度先進医療、災害拠点機能など

○地域医療を担う医師等を育成する病院

➡総合診療医等の養成、看護師等のキャリア形成支援

○働く者にやさしい病院

➡医師、看護師等の子育て支援、柔軟な勤務体系など

新潟大学病院との強い絆

「新潟大学地域医療教育センター」を設置

約40名の教員を各診療科に配置

魚沼基幹病院の医師として診療を通じて、以下の事業にも従事

- ・ 卒前教育（医学部5, 6年生実習）
- ・ 新たな卒後臨床研修プログラムの構築と実践
- ・ 多様な専門研修プログラムの提供
- ・ 地域医療研修・総合診療研修の提供
- ・ 研究機能の向上
- ・ 地域医療への貢献

* 新潟大学、新潟県、新潟県地域医療推進機構で連携協定を締結
新潟大学病院は、魚沼基幹病院内にセンターを併設

医師の集まるマ
グネットホスピ
タル

病院概要

鳥瞰図



屋上ヘリポート（融雪設備付き）

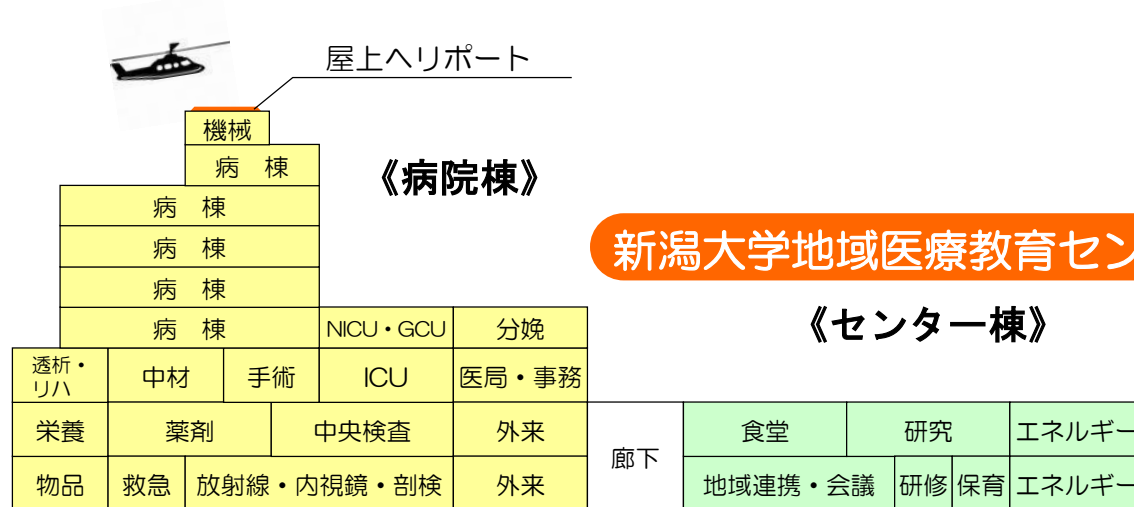
新潟大学地域医療教育センター・
魚沼基幹病院

診療科（31科）

内科・総合診療科（※）、循環器内科、内分泌・代謝内科
血液内科、腎臓内科、リウマチ科、呼吸器・感染症内科
消化器内科、神経内科、精神科、小児科、消化器外科、
乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、
形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、
産婦人科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、救急科、
リハビリテーション科、矯正歯科、歯科口腔外科、病理診断科

※総合診療科は、医療法上の標榜（公告）は認められていないため
院内で表示

断面図



構造概要

- 階 層 地上9階
- 構 造 鉄筋コンクリート造
- 延べ床面積 33,549.31㎡
- 病 床 数 454床

| | | | |
|----|---------------------------|-------------------|-----------|
| | | 9F | 機械室 |
| | | 8F | 50床(精神病棟) |
| 7F | 49床 | | 49床 |
| 6F | 48床 | | 48床 |
| 5F | 49床 | | 49床 |
| 4F | 43床 | 12床 (NICU・GCU) | 43床 |
| 3F | ICU (6床)、CCU (2床)、ER (6床) | | |

高度な医療を提供

新潟大学病院同様の高度医療が
魚沼の地で受診できる

医師約80名の内、約40名は新潟大学病院教員

教授 19名

准教授 3名

講師 6名

助教 12名

週1日は新潟大学病院で診療。

高難度の症例は、新潟大学病院がバックアップ、
手術支援など

○医療機能

1) 地域救命救急・外傷センター

① O-arm術中イメージングシステム

② MRI 2台 (3.0T, 1.5T)

③ リニアック動体追跡放射線治療システム
～県内唯一～

④ 最新の3D内視鏡システム

⑤ 3Dマンモグラフィ撮影装置

⑥ アンギオ装置 (同時2方向撮影)

2) 地域周産期母子医療センター

3) 地域がん診療連携拠点病院
(R2申請)

一貫した教育カリキュラム（医師）

- ・ 卒前教育

 - 5、6年次生の地域医療実習など

- ・ 卒後臨床研修

 - 基幹型臨床研修病院として研修を実施

 - 新潟大学等の協力型臨床研修病院

 - 地域医療人の受入れ

- ・ 専門研修（後期研修）

 - 基幹病院の各診療科等と周辺病院をローテートし専門医療研修とプライマリーケア研修を行う。

 - 新潟大学と連携し、新たな専門研修制度による専門医を取得

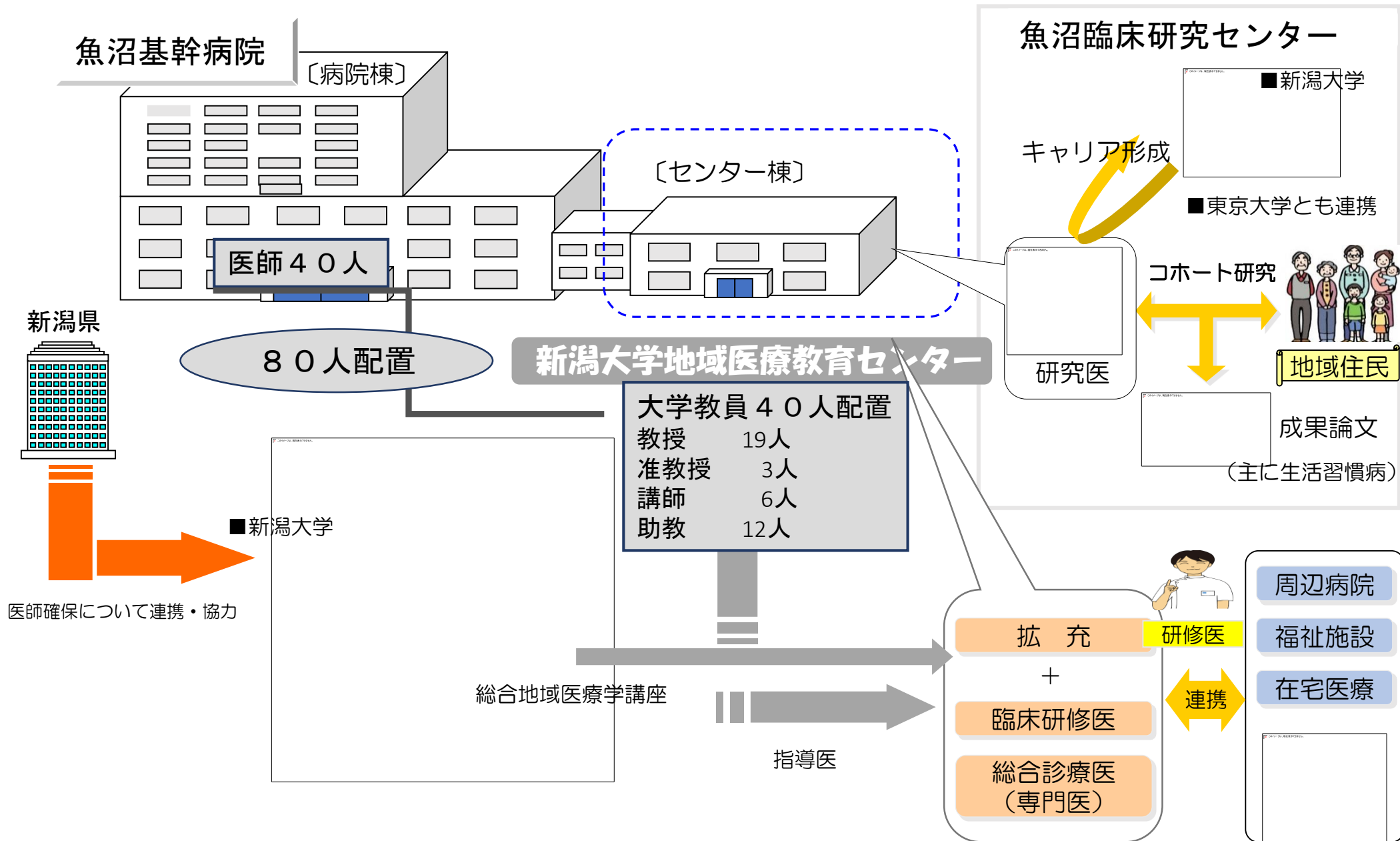


○臨床研修医の処遇改善

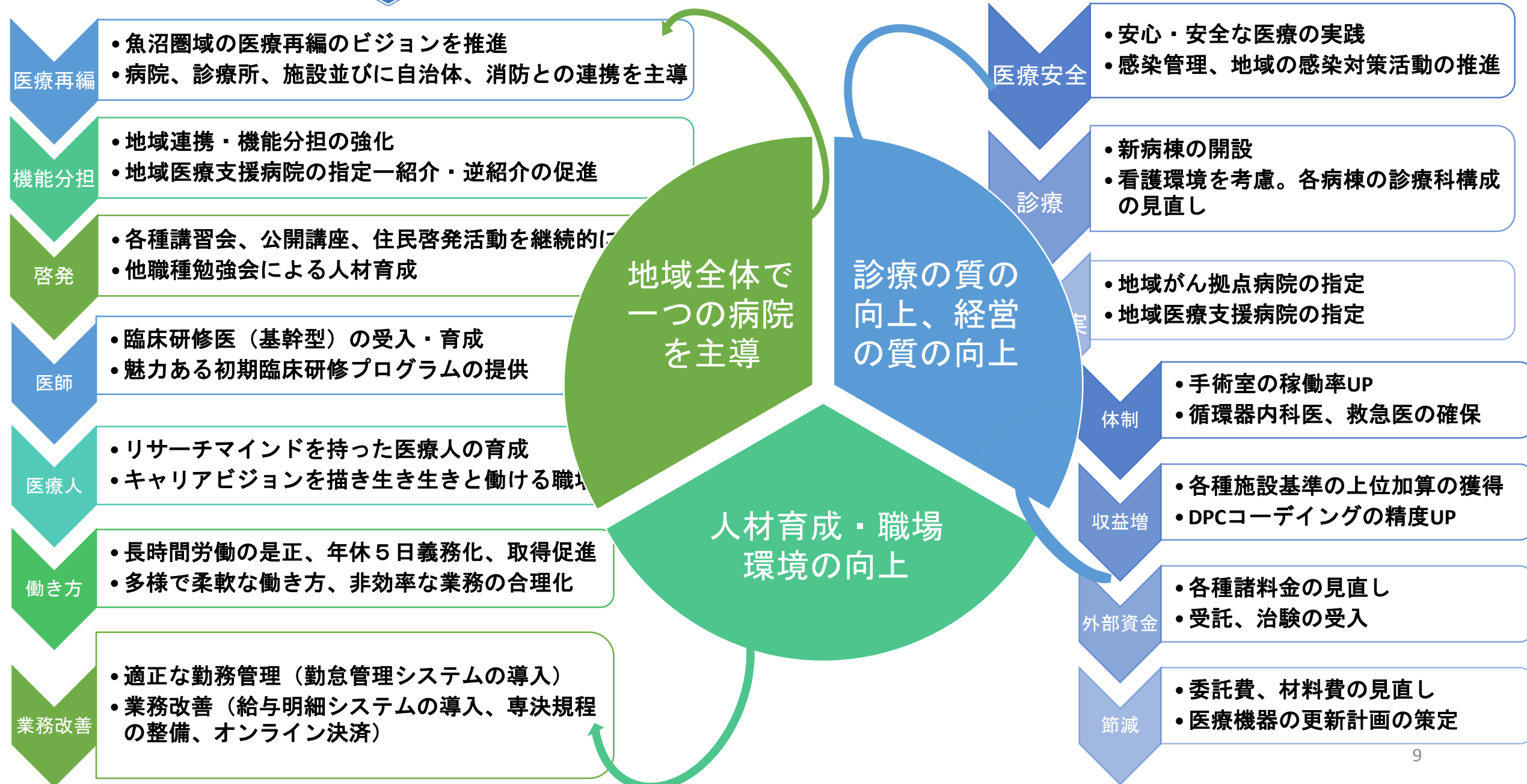
- 1) 基本給（36万円）5万円UP
宿舎料の無料化（1万5千円/月）

- 2) 短期海外研修制度（費用病院負担）
ハーバード大医療ビッグデータセミナー
に参加など（2週間程度）

医師を集積させる仕組み（新潟大学、新潟県との連携）



令和2年度 事業計画概要





短期的重点取組事項（上半期）



1. からだにやさしい治療センター設置

- ・鏡視下手術（消化器外科・泌尿器科・産婦人科）、放射線治療、内視鏡手術
- ・魚沼基幹病院の高度医療を発信（広報戦略、ブランディング）

2. 手術室の有効活用

- ・手術枠見直し後の実績検証、経年的変化の検討（月別、診療科別）、WGの設置

3. ケースカンファレンス（症例検討会）の拡大

- ・紹介症例の当院主治医・紹介医での電子カルテを参照しながらカンファレンス
- ・院外医師への参加要請、広報。

4. 施設基準・加算等の取得、加算算定支援ツールの活用

- ・地域がん診療連携拠点病院の申請、各種加算の取得要件の確認、取得の手順・推進

5. 県立十日町病院新病棟開設移送に係る転院患者受入れ—令和2年9月11日（金）

移転時は救急患者を中心として当院で受入れ支援する。

うおぬま からだにやさしい治療センター設置



□ 超高齢社会に即した低侵襲治療の積極適応

根治性を担保しつつ患者さんのQOLを確保

フレイル状態や寝たきりの回避

□ 診療科横断的な治療体制

治療手段の柔軟性を確保

患者さん毎の最適な治療バランスの確保

□ 高度医療と地域医療の両立

地域医療の魅力の再発信

意欲的な医師の確保・育成

脊椎ナビゲーション（ナビ）手術

画像支援技術を用いる
ことで
見える部分のみでなく
見えない部分も
正確に解剖学的部位を
把握



適切なスクリュー挿入や骨切除 etc.を可能にして、
安全性・正確性の向上を目指す手術



HEALTH

Mississippi's first robotic navigation spine surgery performed

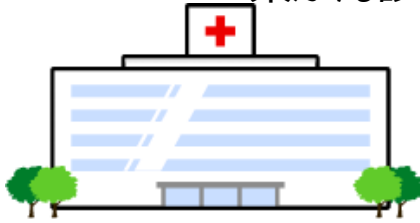


Singing River Health System and Bienville Orthopaedic Specialists perform the first robotic navigation spine surgery in Mississippi. (Source: Singing River Health System)

地域がん診療連携拠点病院

県立がんセンター新潟病院

県がん診療連携拠点病院

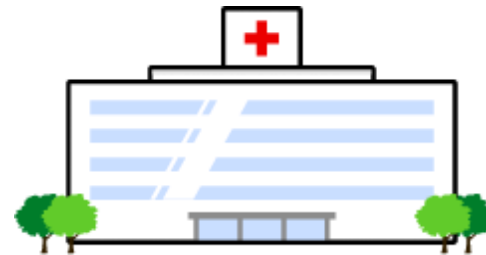


新潟大学医歯学総合病院



連携によるがん医療提供体制の充実・向上

新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院



魚沼医療圏

地域連携

- 地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入。また、がん患者の状態に応じ、地域の医療機関へがん患者の紹介。
- 地域の医療機関の医師と診断及び治療に関する相互的な連携協力体制・教育体制を整備。

研修等の実施

- 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」に準拠した緩和ケア研修会の実施
- がん医療に携わる医師等を対象とした早期診断、副作用対応を含めた放射線治療・薬物療法の推進及び緩和ケア等に関する研修を実施
- 地域の医療機関等と合同カンファレンスの開催

がん相談支援センター設置
緩和ケア外来設置
緩和ケアチームによる支援





中長期重点取組事項 (下半期以降)

1. 新病棟開設

- ・ 開設要件の検討
- ・ 開設スケジュールの検討
- ・ 開設日の公表

2. 病院としての研修会・講習会の開催

- ・ 各種研修会・講演会の企画・立案一院外医師会員・院内医師向け
- ・ 一般市民向け市民公開講座

3. 臨床研修体制の見直し

- ・ 課題・問題点の抽出
- ・ 臨床研修センターの設置（担当事務職員の配置）
- ・ 医学生へのアピール・広報
- ・ 当院独自の大学での説明会、見学実習会（模擬研修）



新病棟開設に向けて . . .



| | 短期的視点 | 中長期的視点 |
|------------------|--|--|
| ミクロな視点 (院内事情) | <ul style="list-style-type: none">・ 整形外科、脳神経外科等における需要増への対応・ がん診療連携拠点病院の指定 | <ul style="list-style-type: none">・ がん医療への対応強化・ 多職種連携等による人材育成 |
| マクロな視点 (地域事情) | <ul style="list-style-type: none">・ 地域連携のさらなる推進・ 内科系救急の対応強化 | <ul style="list-style-type: none">・ 地域の回復期病床不足・ 圏域外流出への対応 |



新たに運用開始する病棟で

どのような患者を対象とし、どのような機能(診療科構成)とするか

看護師確保に向けた取り組み

【新卒、既卒・経験者 採用】

- ・ 看護部サイトによる情報発信
- ・ 病院動画による情報発信（R2新規）
- ・ WEB面接の導入による受験機会の拡大（R2新規）

【新卒 採用】

- ・ 修学資金貸付
- ・ 養成校訪問

【既卒・経験者 採用】

- ・ UI ターンイベント出展、UI ターン促進チラシの配布
- ・ リファラル採用（職員の家族・親戚・友人への受験促進）
- ・ 人材紹介会社の活用

【離職防止】

- ・ 面接相談の継続・充実





新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院

魚沼基幹病院ロゴへの思い

魚沼基幹病院の使命は「医療再編の拠点」と
「地域医療を担う人材の育成」。

地域内の医療機関と結びつき、医療再編の拠点としての役割を、
魚沼エリアの自然を代表する“雪”の結晶、
スノーフレイク（六角形）で表現しました。

「地域医療を担う人材の育成」を、大きく育っていく木で表し、
魚沼基幹病院は、その木を育てる大地の役割でありたいと考えています。

新潟発、世界に誇れる病院を目指して想いを込めました。